

宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

小学1年生

【書名】
くれよんのくろくん

【著者名】
なかや みわ

【出版社】
童心社

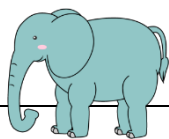
くれよんのくろくんが、かっやくしたおはなし。わたしは、くろくんが「かあいそう」だともおもいました。なぜなら、なにかまはす「れに」であっていたからです。さいごにはなかなあおりましたけど、なにかまはす「れは」いいな、いとおらためておもいました。

【書名】
へんしんとびばこ

【著者名】
あきやま ただし

【出版社】
金の星社

このえほんはこのとびばこをとぶとへんしんすることかできま、ひとつのことはをくりかえし、いいつづけるとちがうことばになります。このえほんはへんしんしたりてつこが、こうてつになったり、せんこうが、こうせんにへんしんします。わたしがいちばんすきなところは、さんそうぼしが、そうさんになるところです。

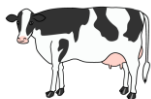


【書名】
しんでくれた

【著者名】
谷川 俊太郎

【出版社】
佼成出版社

ぼくはだいたい、いがかわかったからよんでみたけど、こんな本でした。うしがしんでくれたから、はんばーぐがたべれる。ほんといはふたも、しんでくれる。にわとりもしんでくれる。ごはんをだいじにたべようとおもった。



宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

小学2年生

【書名】
どうぞのいす

【著者名】
香山 美子

【出版社】
ひさかたチャイルド



わたしがはじめてクリスマスプレゼントにもらった本です。うれしくて、なんともお父さんやお母さんといっしょに読みました。じ分で字が読めるようになったらおとうとに読み聞かせをしてあげました。どうぞのいすは、どうぶつのやさしさかっながっていくお言葉です。あたしにだれかのためにやさしさをもてる人になりたいです。

【書名】
おばけのてんぷら

【著者名】
せな けいこ

【出版社】
ポプラ社

ぼくが小さいときに、おかあさんにたくさん読み聞かせしてもらった本です。うさぎが、まちがえて、おばけをてんぷらにあげてしまったばめんが、とてもおもしろかったです。この本のおもしろさを、おとうとにも読み聞かせしてあげたいです。

【書名】
おひめさまになれるまほうのとびら

【著者名】
真瀬 ひかる

【出版社】
永岡書店

この本が宝本になったのはママがわたしが好きな本だなどおもいかけてきてくれたからです。ドレスがいろいろえらべて、かわいく、わたしもこんなドレスがきれたらいいなとおもいました。アクセサリーもいろいろかみかたになれるところが好きでした。ママもまもるとも、そしてまなまひめさまになれるとおもいました。おひめさまのことも、しりたくなりました。だいすきな本です。

宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

小学3年生

【書名】
科学ワールド
昆虫の不思議

【著者名】
藤子・F・不二雄

【出版社】
小学館



ぼくは小さい時から科学が大好きでとくに虫と
うちはらが好きであのぼくが知れたからとてや
なかつたかかいてあて言売ると早くしよ
言売るとかかたことお母さんに言とすべ
いお母の十くさのシリーズを言売とてい
とを知れたこと。

【書名】
小公女セーラ

【著者名】
F・H・バーネット

【出版社】
KADOKAWA

この本は、おばあちゃんに買ってもらった本で私はお言が
長いのは読むのがむずかしくてほんの少し言売ただ
けですぐ読むのをやめていました。でもこの本はいよ
からとんとん つづきが気になって、気がいたら
半分いよも読んでいました。この本を言売おあると
はじめてつづきがあたらいいのになと思 いました。
この本は一生大切な宝本です。

【書名】
おばけずかん

【著者名】
斉藤 洋

【出版社】
講談社



あたしがまだ1年生だったころ長いおはなは、きらいで
す。それにこわいのもきらいです。もしつにいくと、
そこでであたのおはけずかんをよんだらおも
しろくてたのしいしおしたら長いおはなしがす
になりました。こわいおはなしも、すこしは、こわくな
くおはなすごひきにいはまりました。おして
た。さんのいろいろなおはけずかんがよめたか
した。

宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

小学4年生

【書名】
信長公記

【著者名】
小島 剛夕

【出版社】
中央公論社



ぼくが、れきしが好きなので、おじいちゃん
がくれた本です。「信長公記」は、お父さんが小
学生のころに読んでいたそうです。お田 信長の一生が
えがかれていますが、ぼくは、あんなはま間の戦いで
きしゅうをしかけた所からといいとお父さんと話し
ました。お父さんよりもっとおもしろくおもしろいとい
います。

【書名】
おしりたんてい

【著者名】
トロール

【出版社】
ポプラ社

（私の宝本はおしりたんてい）です。
この本はぼくが小学一年生の時にどうしても
ほしくて習い事をかんばったごほうびにおばあ
ちゃんに買ってもらいました。大々きな本なので何回
も言売人だり弟に言売人であげたいしました。今、弟が自
分と言売めるようになってきました。自分と言売める
ようになったのはうれしいけれど言売人であげられなくな
ったのは少し びい です。

【書名】
ウソナンデス

【著者名】
今泉 忠明

【出版社】
学研プラス



動物たち、魚、虫 たちのウリがたぶん
書いてある本、本当だと思っていたのがちがって
たことを知りました。母に問是書を出して「分
からない」と言ってもぼくが答たら「へーお
ね」と言ってくれました。い私気な気持ちに
なりました。

宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

小学5年生

【書名】
ぐりとぐら

【著者名】
なかがわ りえこ

【出版社】
福音館書店

この本は、一番上の兄が赤ちゃんのころからある本です。なのでわたしが赤ちゃんのころからずっと母に読み聞かせをしてもらっていました。小さいころに、大きいカステラをぐり達が作っているところを読み、「こんなに大きいカステラを食べてみたいな。」と思っていました。今でも時々読んだりしているので、とても大切な宝本です。

【書名】
いいからいいから

【著者名】
長谷川 義史

【出版社】
絵本館

わたしはいいからいいからのおじいちゃんがやさしい所が好きです。このおじいちゃんがいまだみんなが毎日楽しい日々を送れると思います。でもこのおじいちゃんの本の中なのでわたしがこのおじいちゃんみたいになれるようにがんばりたいです。

【書名】
友だちってなんだろう？
ひとりになる勇気、
人とつながる力

【著者名】
齋藤 孝

【出版社】
成文堂新光社

図書室で本をさがしていたときに、この本をふと見つけて気になって借りてみました。そして読んでみると「ああ、たしかに！」「へえ、そうなんだ」と思うことがたくさんありました。生きるのに友達が必要か、何でみんな友達をつくるのか、友達をつくらない人がいるのか。今いる自分と周りにいる友達のことについて考えさせられました。



宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

小学6年生

【書名】
えんとつ町のプペル

【著者名】
西野 亮廣

【出版社】
幻冬舎

前あまり本を読むと好きじゃなかった。だけど、この本を読んで本が好きになりました。
四年生のころ本を借りる時に全体借りていた本。ごみ人間とゆいっつ仲良くしてくれた「プペル」の物語りです。ごみ人間がくさくていじめをしている子がいて、くさくないように協力してくれる「プペル」がとてもやさしいなと思いました。私が本を好きになり、たきかけを作った大切な本です。

【書名】
ソーリ!

【著者名】
濱野 京子

【出版社】
くもん出版

「ソーリ!」という題名に私はよく分からず疑問をもっていました。よくうちに「入って変われるんだ」と知ったからです。バカにされたときからショックで大人しくなった主人公ですが、学級委員という立場になってから主人公は、学校のために何かしたいというポジティブな考えに変わり、どんどん成長していきます。とても心の暖まる秋の宝本です。

【書名】
わたしのワンピース

【著者名】
にしまき かやこ

【出版社】
こぐま社



小さいころに母によく読み聞かせをもらった本の中でお気に入りの本です。泣いている時にこの本を読むと、泣きやむほど好きな本だったそうです。読む時には、1回では満足せず、続けて3回以上は読まれたそうです。「ラララン ロロロン」と「ミシン カタカタ」のところが好きでした。ほとんどの絵本は処分してしまいましたが、この本だけはずっと持っていたいと思います。

宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

中学1年生

【書名】

赤ずきん、旅の途中で
死体と出会う。

【著者名】

青柳 碧人

【出版社】

双葉社



母さんがすいりしょうせつが大好きでみんなはこの本をよみ、だれかほんにんかみんなですいりしました。すいしよは、むすかしかたけど(ほんにんをあてるのが)みんな考えていったらほんにんがわかりました。またこんなすいりしょうせつみたいな本を言表みたいです。

【書名】

また、同じ夢を
見ていた

【著者名】

住野 よる

【出版社】

双葉社

いところが、映画「君の隣臓をたべたい」を見て、面白いと思い作者である住野よるさんの小説を、何作か読んでみると、その中で一番印象に残った「また、同じ夢を見ていた」を勧められ、読んでみました。こんな具体的に勧められたのは初めてで1つの思い出ができました。宝本になったのは、名言がすごく心にささるからです。1つだけ訳して紹介します。「幸せはあちからやってくるのではなく、こちから選んでやってくる」このように、名言がのっています。

【書名】

渚君をお兄ちゃん
とは呼ばない

【著者名】

夜野 せせり

【出版社】

集英社みらい文庫

この本は、私とお母さんの大好きな本です。もともと私が好きで、私と母のみが似ていたお母さんに、紹介したら、お母さんもハマって、今では、お母さんと一緒に語り合っています。私は、そのお母さんと語り合っている時間が好きなので、その時間がずっと続くといいなあ、と思います。

宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

中学2年生

【書名】

学年ビリのギャルが
1年で偏差値を40
上げて慶応大学に現
役合格した話

【著者名】

坪田 信貴

【出版社】

KADOKAWA

この本を好きになった理由は、努力の大切さを教えてもらったからだ。自分は今まで「ぜんぜん努力してなかった。」「努力を続けねば」「必ず」帯はうらんだ」とこの本を読んでいて思った。あと、みんなにバカにされても一生懸命頑張る主人公は、かっこよかった。この本を読んだから自分の人生が少し変わった。本で努力の大切さと思った。

【書名】

赤毛のアン

【著者名】

L.M.モンゴメリ

【出版社】

ポプラ社



小学校に入学してから卒業するまで何回も何回もくり返し読んだ本です。
この前読み終えたはずなのに、また読みたくなる本はこれしかないと思います。
人との関わり、人の死など多くのことを学ばせてくれる本です。
これから先も私はこの本と一緒に生きていきます。

【書名】

諦める力<勝てないのは努力が足りないからじゃない>

【著者名】

為末 大

【出版社】

プレジデント社

私は中学生になって陸上を始めて、今が2年目だけれどこの本を読んで陸上が一層楽しく感じるようになった。八歳から陸上を始めた為末さんはやはり色々なことを経験している。物事を多面的に捉えているところは陸上アスリート関係なく尊敬すべきだと思う。私もこれからの出来事を多面的に多角的に見ていきたい。

宝本 エピソード

宝本って？

… 家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。

令和3年度に応募いただいた宝本エピソードの中から数点をご紹介します。

中学3年生

【書名】

あの花が咲く丘で、
君とまた出会えたら。

【著者名】

汐見 夏衛

【出版社】

スターツ
出版文庫



この本は、SNSで偶然見つけた本です。読んだ人が、みんなオススメして、深が止まらないと大々書いてあって、気になり、初めて文庫本を買ってみました。ゴキツメの通り、感情移入しすぎて、感動と涙が止まりません。この本を「知ってる人がいたから、友達の友達に読んでほしい」と。感想を共有したい、という気持ちになりました。そして、友達に「かした、図書館にいかせよう、オススメしたいな」として、その本の感想をいろんな人と共有しました。読んだ友達のオススメの本にひいてるのを見て、本が「輪」はまると思いました。この本は、愛する人への想い、平和について考えさせる本です。感想を共有しよう！

【書名】

ケーキ王子の名推理
(スペシャリテ)

【著者名】

七月 隆文

【出版社】

新潮社

その頃私は本を読み切る自信がなかった。幼い頃買った小説を未だに読み切っていないから。でも、本自体を少しだけ耳にして、表紙も興味持った漫画家が担当していたため、試しに買ってみた。車の中で軽く読んだ。すると、どうだろうとでも読みませぬ文章に、わくわくする内容、偉いに出てくる食べたくなるようなケーキの絵とその豆知識、これらにより、私の手は止まらなくなりました。この本をきっかけに本を読むことの自信がついた。今でも私はこの本の続編が発売されると買って読みます。

【書名】

動物と話せる少女
リリアーネ

【著者名】

タニヤ・
シュテーブナー

【出版社】

学研教育出版

この本は本嫌いな私に本という世界のみかさを教えてくれた本です。私は長い本が大嫌で分厚い本など眼中にありませんでした。しかし、気まぐれで借りて最初だけ読んでいたらいつの間にか読み終っていました。それから本を読んだり借りたりするようになり、本って面白いと思うようになりました。だから、この本は私にとっては一歩とげた宝本です。